

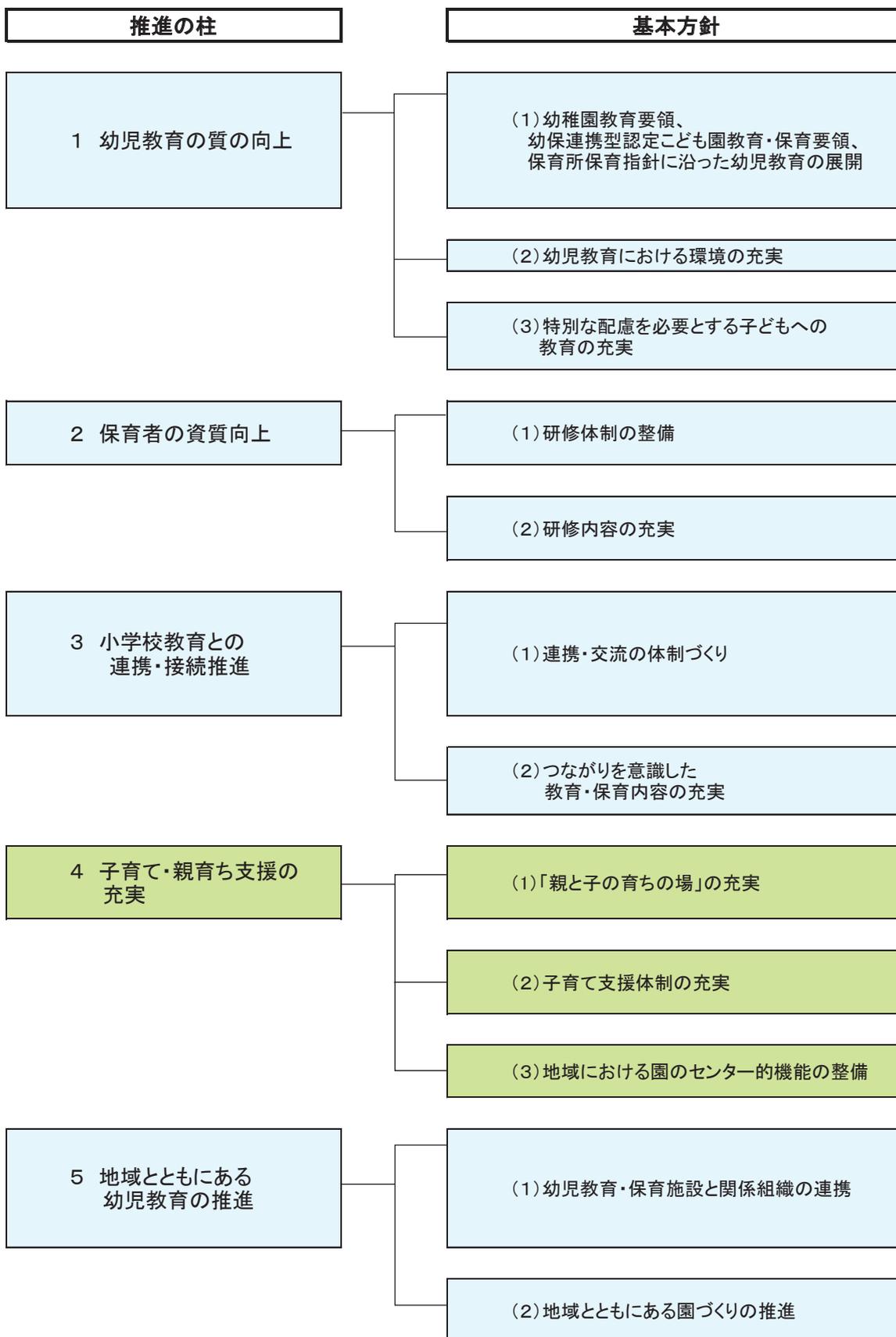
推進の柱 4

子育て・親育ち支援の充実



家庭教育を
支える

【体系表】





目標

- ① 幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針の内容の理解推進
- ② 教育・保育内容の充実
- ③ 自己評価を中心とした学校評価・園評価の活用・推進

- ① 幼児教育における環境の改善・整備

- ① 支援体制の整備・充実
- ② 個別の教育支援計画等の作成・活用及び関係機関との連携

- ① 体系的な研修計画の整備
- ② 計画的・組織的な研修の推進

- ① 専門性の向上のための研修の充実
- ② 幼保多様化に向けた研修の充実

- ① 幼稚園・認定こども園・保育所・小学校等の連携・接続の体制整備・充実 ～組織をつなぐ～
- ② 幼稚園・認定こども園・保育所・小学校教員等の連携・交流の推進 ～人をつなぐ～

- ① 接続カリキュラムの編成 ～教育をつなぐ～
- ② 地域における連携体制の整備 ～組織をつなぐ～

- ① 多様な場を活用した交流機会の提供
- ② 保護者の育ちを応援する学びの機会の充実
- ③ 親と子の生活習慣づくりの支援

- ① 関係機関と連携した子育て支援体制の充実
- ② 家庭や地域における子育て支援体制の充実

- ① 幼稚園・認定こども園・保育所等におけるセンター的機能の充実

- ① 連携体制の整備
- ② 市町村における幼児教育の充実に向けた政策プログラムの策定
- ③ 多様な幼児教育・保育施設の連携推進

- ① 地域資源の活用
- ② 子どもを支える地域づくり



4 子育て・親育ち支援の充実

子どもたちの健やかな成長のためには、保護者自身が子育てに自信と喜びを感じ、ゆとりをもって子育てができることが求められます。

乳幼児期からの親子の愛着関係の形成や家族との触れ合いを通して、子どもたちの豊かな情操、自分自身や命を大切にする心や思いやりの心、社会性や基本的な生活習慣などが育まれます。家庭は、子どもたちの自己肯定感や人格形成において大きな役割を担っており、保護者と共に子どもの育ちを支えていく取組を推進していく必要があります。

「親と子の育ちの場」としての幼稚園・認定こども園・保育所等の機能や特性を生かし、地域の関係機関が連携して、家庭を支える子育て支援体制の充実に努めます。

基本方針（1）「親と子の育ちの場」の充実

目標① 多様な場を活用した交流機会の提供

保護者同士がつながりを持ち、心にゆとりをもって子育てができるよう、保護者同士の交流を深める支援に努めます。

【推進のための具体的な取組】

【県・県教育委員会】

- 保護者同士の仲間づくりの支援
 - ・「とっとり子育て親育ちプログラム」活用の推進（ファシリテータ派遣等）
- 子育て支援や交流活動等の情報提供

【市町村・設置者】

- 保護者同士の仲間づくりを推進しましょう。
- 保護者の交流の場や機会・情報を提供しましょう。
- 保護者の自主的活動、サークル活動等への支援をしましょう。

【幼稚園・保育所・認定こども園等】

- 保育参観や保育参加（*）の機会を提供しましょう。
- 空いた保育室や園舎、園庭等を開放しましょう。
- 保護者同士の交流の場を設けたり情報を提供したりしましょう。
- 自主的活動を支援し、保護者の力が発揮できる場をつくりましょう。
- 小学校と園の保護者がつながるための取組を進めましょう。

【小学校等】

- 小学校と地域や園の保護者同士がつながる機会を提供しましょう。

*保育参加…参観するだけでなく、子どもをより理解するために、保護者が保育に主体的に参加すること

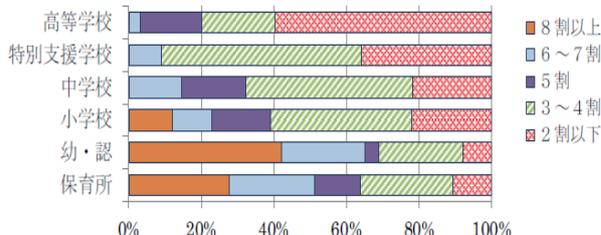


教育基本法

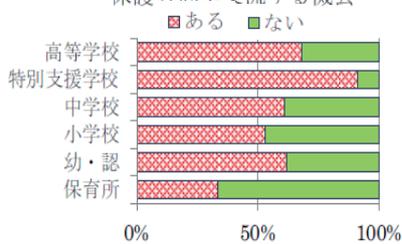
父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。（第10条第1項）



PTA研修会、講演会への参加



保護者同士交流する機会



「鳥取県PTA調査」
(H26 鳥取県教育委員会小中学校課)

就学を境に、参加者の減少や固定化が課題となっています。こうした課題を捉え、どの園・校種においても、保護者同士がつながる機会を意識的にもつ工夫が進められています。

【小学校等と園の保護者がつながる取組】

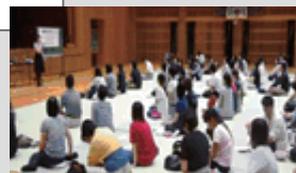
小学校等や園、市町村において、小学校と園の保護者の合同研修会や交流会、地域の教育を語る会等が行われています。



オープンスクールにおいて、小学校と園の保護者が語る会



小学校と園の親子対象クッキング教室



地域における教育を語る会

POINT

就学に向けての話など、子育てについて気軽に相談したり語り合ったりできる場を提供し、保護者の仲間づくりの取組を推進しましょう。

施策

とっとり子育て親育ちプログラム

保護者同士の仲間づくりを応援します

本プログラムは参加型の研修です。子育てや家庭教育について学んだり語り合ったりする中で、子育てについて振り返るとともに、保護者自身の自己肯定感を高める研修にご活用ください。なお、本プログラムを活用した研修には、ファシリテータを無料で派遣します。



【活用場面】

- 学年・学級懇談会
- PTA研修会
- 園や小学校での保護者会
- 就学前健康診断
- 入学説明会
- 企業内研修会
- 地域懇談会 など

【プログラム例】

- ◇ 子育てはつらい？楽しい？
- ◇ もうすぐ入学 何をしたらいい？
- ◇ 子どもが育つステキな言葉
- ◇ 我が家のルール ベスト3
- ◇ メディアとの付き合い方って？

問い合わせ先：鳥取県教育委員会小中学校課

【市町村による育カフェの取組】



親子の憩いの場の提供を通して保護者同士のつながりをつくるなど、保護者を支える取組が進められています。

基本方針（１）「親と子の育ちの場」の充実

目標② 保護者の育ちを応援する学びの機会の充実

保護者が家庭教育の重要性について理解を深め、自信と喜びを感じながら子育てができるよう、保護者の学習機会の充実に努めます。

【推進のための具体的な取組】

【県・県教育委員会】

- 家庭教育の重要性の発信
 - ・とっとりふれあい家庭教育「子どもと向き合う４つのポイント」を中心とした啓発活動
 - ・子育て支援・家庭教育に関する情報の提供と研修の充実
 - ・家庭教育アドバイザーの保護者会等への派遣
 - ・担当指導主事等の保護者研修会等への派遣
- 読書活動の推進
 - ・親子読書の推進
 - ・子ども読書アドバイザーの派遣

【市町村・設置者】

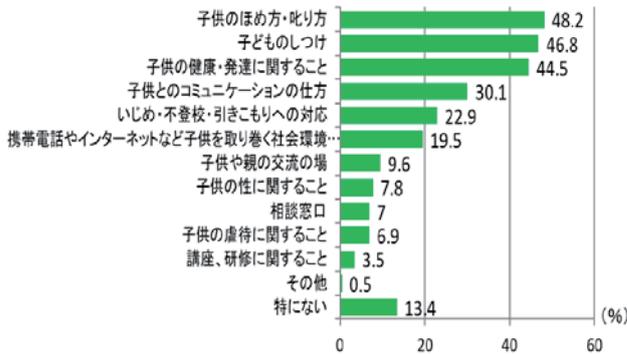
- 家庭教育に関する研修会を実施しましょう。
 - ・子育ての基本的な知識や技能、親の役割や責任を学ぶ場の提供
- 家庭教育に関する学習機会や子育て支援に関する情報を提供しましょう。

【幼稚園・認定こども園・保育所等】

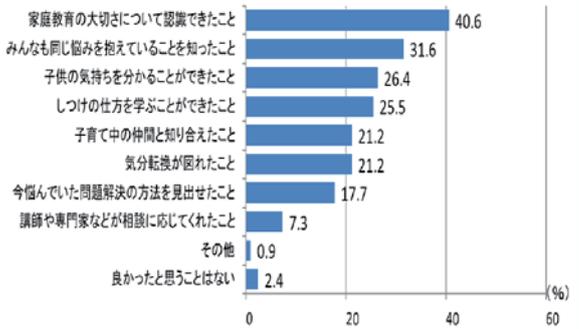
- 家庭教育に関する保護者研修会を実施しましょう。
 - ・乳幼児の心と体の発達の理解
 - ・親としての関わり方・役割 など
- 園の経営方針や取組について積極的に伝えていきましょう。
- 保育参観や保育参加の機会を提供しましょう。
- 保護者が気軽に相談できる雰囲気を作り、積極的に保護者に声かけをしましょう。
- 子育て支援に関する情報や子育てに関する学習の機会を提供しましょう。
- 親子読書の機会を設けましょう。
 - ・絵本の貸出し
 - ・親子読み聞かせ体験
 - ・絵本の紹介 など
- 親子の触れ合いを勧めましょう。
- 子育てを楽しむ保護者の声を積極的に伝えましょう。



あなたは、家庭教育について、主にどのような情報を知りたいですか、知りたい順に3つまでお答えください。(複数回答として 集計)



あなたは、家庭教育に関する講座や研修会などに参加して、主にどのようなことが良かったですかよかったと思う順番に2つまでお答えください。(複数回答として集計)



研修への参加を通して、家庭教育の重要性に気付いたり、保護者同士で悩みを共有し安心感をもったりすることができたと、参加者が実感していることが分かります。また、ほめ方・叱り方、しつけ、コミュニケーションの仕方といった、子どもとの関わり方について知りたいと考えている保護者が多いことが分かります。

「家庭教育の総合的推進に関する調査研究」(H28 文科省委託調査)

施策

子どもと向き合う4つのポイント 「子どもの未来は家庭から」

たくましく・夢をもって・自立できる子どもを育てる
4つのポイント!

- 生活習慣を身につけよう**
 - 早寝・早起き・朝ごはんを生活リズムを整えましょう。
 - 家庭学習やメディア使用に家庭のきまりをつくりましょう。
- 生きる力を育てよう**
 - あいさつやマナーの習得を促し、人と関わる力や判断力を育てましょう。
 - 家族の一員として役割を与えましょう。
- 夢を育てよう**
 - 親の助言や姿、挑戦する姿、楽しむ姿を見せ、一緒に夢を語りましょう。
 - 読書や体験で、感性や知的好奇心を育てましょう。
- 広い心で受けとめよう**
 - 子どものできる力を信じ、見守るゆとりを持ちましょう。
 - 良いこと・悪いことを自分で判断できるように、愛情をもってほめたり叱ったりしましょう。

問い合わせ先：
鳥取県教育委員会小中学校課



家庭教育や子育ての専門的な知識をもつ「家庭教育アドバイザー」を講師として派遣しています。

施策

人権教育プログラム (社会教育編)

いじめ防止等のための研究実践の成果をまとめた「人権教育プログラム」を作成しました。いじめ防止について、

保護者が考える研修会等に、本プログラムをご活用ください。ファシリテータの無料派遣も行っています。



問い合わせ先：
鳥取県教育委員会人権教育課



読書活動の推進



貸出しを行ったりするなど、親子で絵本を楽しむ環境づくりを進めましょう。

絵本を親子で一緒に読むことの大切さを伝えたり、保護者の希望する本の配架や保護者向け

施策

子ども読書アドバイザー事業

子どもの読書に関する専門的な知識や読み聞かせ等の豊富な経験をもつ「子ども読書アドバイザー」の研修会への派遣を行っています。

- 《研修例》
- 読み聞かせの大切さ
 - 子育てと読み聞かせ
 - 読み聞かせのポイント
 - 絵本や児童書の選び方

問い合わせ先：鳥取県教育委員会社会教育課

POINT

読書は、「こころ」と「ことば」を育みます。また、読書の楽しさを共有した大人とは愛着関係が深まるといわれています。読み聞かせ等、親子で本を楽しむことを推奨していきましょう。

基本方針（１）「親と子の育ちの場」の充実

目標③ 親と子の生活習慣づくりの支援

家庭でのよりよい子育て環境をめざし、家庭や地域と連携して、親と子の望ましい生活習慣の確立を支援するよう努めます。

【推進のための具体的な取組】

【県・県教育委員会】

- 生活習慣の重要性の理解推進
 - ・保育者、保護者等対象の研修会の開催
 - ・「心とからだいきいきキャンペーン」の推進
 - ・みんないく（*）に関する情報発信・先進的な取組の紹介
 - ・電子メディア機器の使用に関する情報発信・先進的な取組の紹介
- とっとりふれあい家庭教育「子どもと向き合う４つのポイント」を中心とした啓発活動

【市町村・設置者】

- 親と子の生活習慣の実態を把握し、家庭や地域、校区の小学校等と連携した生活習慣づくりの取組を進めましょう。
- 生活習慣づくりに関する研修会を実施しましょう。
- 生活習慣づくりに関する取組を推進しましょう。
 - ・啓発活動
 - ・情報発信
 - ・キャンペーン
 - 等

【幼稚園・認定こども園・保育所等】

- 研修会や情報提供を通して、親と子の生活習慣づくりを進めましょう。
 - ・食育
 - ・早寝・早起き
 - ・朝ごはん
 - ・みんないく
 - ・電子メディア機器の使用
 - 等
- 家庭や地域、校区の小学校等と連携した生活習慣づくりの取組を進めましょう。

【小学校等】

- 地域や校区の園と連携した生活習慣づくりの取組を進めましょう。

*みんないく…「睡眠教育」の略で、「子どもたちの睡眠への意識向上と生活習慣の改善を図り、心身の健康を増進させる教育のこと」（「睡眠教育のすすめ 睡眠改善で子どもの生活、学習が向上する」木田哲生 著から引用）

施策

心とからだいきいきキャンペーン

乳幼児対象

園と家庭、地域が協力し、右の6つの視点に沿った生活習慣確立の取組を進めています。

小学校・中学校区で同時期に啓発の取組を行うなど、連携した実践が行われています。

- 1) しっかり朝食を食べよう
- 2)じっくり本を読もう
- 3) 外で元気に遊ぼう
- 4) たっぶり寝よう
- 5) 長時間テレビを見るのはやめよう
- 6) 服装を整えよう

小・中学生対象

問い合わせ先：鳥取県教育委員会教育総務課

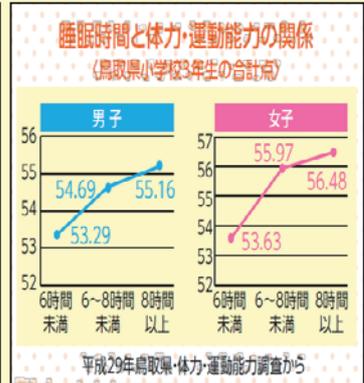
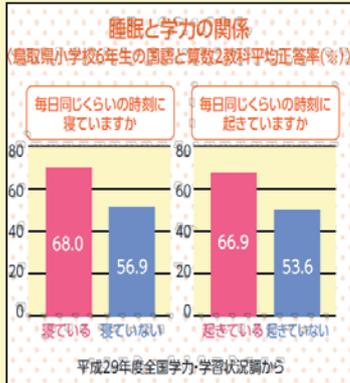


「みんなく」のすすめ

睡眠不足が続くと、病気の発生やリスクを高めたり、いらいらする状態が続いたりするなど、心身に悪影響を及ぼします。右の通り、各種調査からも、睡眠と学力、運動能力との関係が示されています。

POINT

子どもの頃から正しい睡眠習慣を身に付けられるよう、睡眠や生活リズムについて、家庭と共に考え、改善していく取組を推進していきましょう。



「教育だより とっとり夢ひろば! (93号)」(H30. 7 鳥取県教育委員会)

施策

ケータイ・インターネット教育推進事業

近年、子どもたちの電子メディアに触れる時間の長時間化、スマートフォン利用の低年齢化が指摘されています。電子メディアが及ぼす乳幼児への影響や関わり方を考える保護者向けの研修を推進しています。

NPO 法人こども未来ネットワーク(県委託)では、研修会への「ケータイ・インターネット教育推進員」の派遣を行っています。

- 《研修例》
- ・インターネットやゲームと子どもの育ち
 - ・ネットトラブルの対処法
 - ・家庭のルールづくり 等

問い合わせ先：NPO法人こども未来ネットワーク

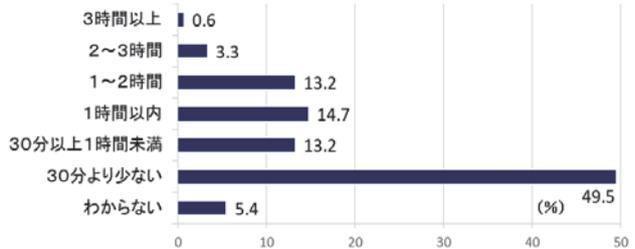
POINT

親子のふれあい遊びを推奨するなど、メディアから離れて、親子で触れ合うことの大切さを啓発していきましょう。

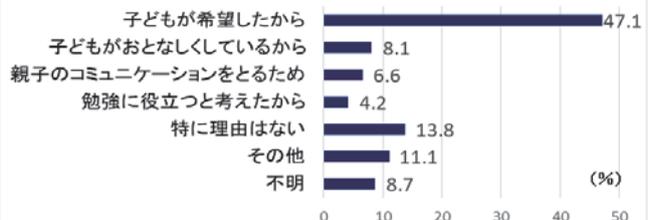
- ・運動遊び
- ・絵本の読み聞かせ
- ・クッキング
- ・楽しくおしゃべり
- ・トランプなどカードゲーム 等



子どもがインターネットを利用する時間
(未就学児(5歳児)保護者回答)



子どもにインターネット機器の利用を認めた理由
(未就学児(5歳児)保護者回答)



調査より、1日のインターネットの利用時間は30分未満との回答が約半数と最も多いですが、3割以上の幼児が1時間以上利用しているなど、メディア利用の長時間化が心配されます。また、子どもの希望が優先される形でインターネットの利用が広がっていることが分かります。

「インターネットの利用に関するアンケート」
(H27 鳥取県教育委員会社会教育課)

回答：鳥取県内未就学児(5歳児)の保護者478名

子育て・親育ち支援の充実

基本方針（２）子育て支援体制の充実

目標① 関係機関と連携した子育て支援体制の充実

保護者の多様なニーズに対応するために、関係機関と連携し、地域ぐるみの支援体制の整備、充実に努めます。

【推進のための具体的な取組】

【県・県教育委員会】

- 幼稚園・認定こども園・保育所等や地域の連携による子育て支援の推進
- 家庭教育・家庭内保育の支援のための地域人材の育成
 - ・家庭教育アドバイザー
 - ・「とっとり子育て親育ちプログラム」ファシリテータ
 - ・ペアレントトレーニング（*1）のファシリテータ 等
- 家庭教育・家庭内保育の支援のための情報収集及び提供
- 子育て・家庭教育支援事業の実施
 - ・「届ける家庭教育支援」（*2）体制の構築を支援
 - ・子育て世代包括支援センター（とっとり版ネウボラ）等への支援
 - ・こども食堂へのサポート体制の構築の支援
 - ・ペアレントメンター（*3）を活用した保護者支援の充実
 - ・とっとり家庭教育推進協力企業の取組支援
- 児童虐待防止ネットワークの構築と啓発
- 日本語の理解に不安がある外国籍等の子ども及び保護者等への環境や支援体制の整備

【市町村・設置者】

- 関係機関と連携した支援体制を整備しましょう。
- 様々なニーズに応えるための地域子育て支援体制を整備しましょう。
 - ・子育て世代包括支援センター（とっとり版ネウボラ）の設置
 - ・「届ける家庭教育支援」の実施
- 家庭教育支援のための地域人材の育成に取り組みましょう。
- 子育て支援施設の設備を充実しましょう。
- 子育て支援に関する情報収集と提供に努めましょう。
- 公民館やこども食堂を活用した子育て支援に取り組みましょう。
- 児童虐待防止ネットワークを構築し、体制の充実強化を図りましょう。
- 保護者のニーズに応じた保育を提供しましょう。
 - ・預かり保育、一時預かり、延長保育、休日保育、病児・病後児保育 等
- 日本語の理解に不安がある外国籍等の子ども及び保護者等が安心して過ごすことができる環境整備や支援を実施しましょう。

【幼稚園・認定こども園・保育所・小学校等】

- 地域関係者による研修会に参加しましょう。
- 幼児の生活・実態等を把握し、保護者に具体的な取組や改善の方法を伝えましょう。
- 保護者のニーズに応じた保育を充実しましょう。
- 地域の人材を活用しましょう。
- 関係機関と連携して、児童虐待の早期発見と対応に努めましょう。
- 日本語の理解に不安がある外国籍等の子ども及び保護者等への個別の支援や園から小学校へ切れ目のない支援を実施しましょう。

*1 ペアレントトレーニング…子育てに悩んでいる保護者が、子どもを理解するための考え方や関わり方のヒントを学べるプログラム

*2 届ける家庭教育支援……主に、学びや相談の場に出向くことが難しい保護者に対して、不安や悩みを聞いたり情報を提供したりする訪問型の家庭教育支援（保護者が集まる場や企業に出向いて家庭教育に関する講演を行うなどのアウトリーチ型の支援も含む）

*3 ペアレントメンター……発達障がいのある子どもを育てている保護者で養成講座を受けた者



児童虐待防止法 <第6条第1項関係>

- 児童虐待を受けたと思われる幼児児童生徒を発見した場合は、速やかに、これを市町村、児童相談所等に通告しなければならない。
- 虐待の事実が必ずしも明らかでなくとも一般の人の目から見れば主観的に児童虐待が疑われる場合は通告義務が生じる。
- 法の趣旨に基づくものであれば、その通告が結果として誤りであったとしても、そのことによって刑事上、民事上の責任を問われることは基本的には想定されない。

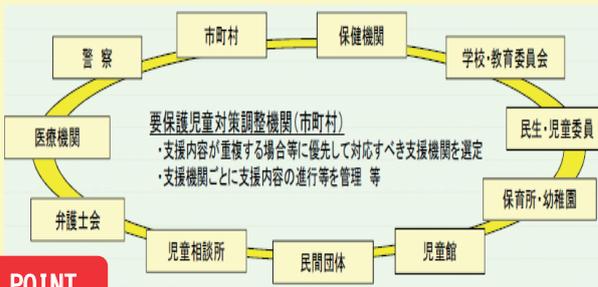
POINT

令和元年6月、親による体罰禁止等が盛り込まれた改正児童虐待防止法と改正児童福祉法が成立しました。子育てに悩む親への支援を充実させるとともに、体罰によらない子育てが進められるよう、子育てに関わる一人一人が意識や行動を高めていくことが重要です。



児童虐待への早期対応と連携

「平成16年児童福祉法改正法」により、被害児童等に関する情報交換や支援内容の協議を行う「**要保護児童対策地域協議会**」の設置が法的に位置付けられました。

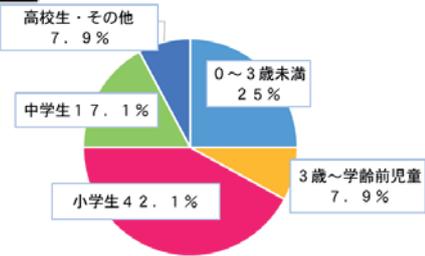


POINT

関係機関が情報を共有し、被害児童の早期発見、保護に努めることが求められています。



被虐待児の年齢



鳥取県における、平成29年度の被虐待児の幼児の占める割合も約33%と、高い傾向にあります。

「児童相談所業務概要」
(H30 鳥取県福祉相談センター)



虐待対応等に関する参考資料

- 「学校及び保育所、認定こども園及び認可外保育施設から市町村又は児童相談所への定期的な情報提供に関する指針」(H31.2 内閣府 文部科学省 厚生労働省)
- 啓発資料「子どもを健やかに育てるために～愛の鞭ゼロ作戦～」(H29.5 厚生労働省)

施策

ペアレントメンター相談事業(委託)

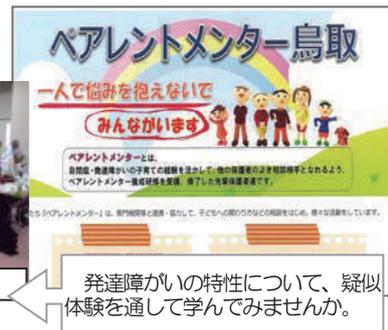
ペアレントメンターが、子どもへの関わり方などの相談をはじめ、様々な活動を通して、子育てのお手伝いをしています。

≪主な活動≫

- ①個別相談(電話・面談)
- ②発達障がいに関する情報提供
- ③サポートブック作りのお手伝い
(必要な支援を分かりやすく伝えるためのツールです)
- ④学校や地域の人権研修の講師(キャラバン公演)
(障がいについて・疑似体験・関わり方等をお伝えします)



キャラバン公演の一場面



発達障がいの特性について、疑似体験を通して学んでみませんか。

問い合わせ先: NPO 法人鳥取県自閉症協会内
ペアレントメンター事務局

施策

とっとり家庭教育推進企業



家庭教育の充実に向けた職場環境づくりに向け、自主的に取り組む企業(協力企業)と鳥取県教育委員会が協定を結び、協力しながら鳥取県の家庭教育を推進します。

問い合わせ先: 鳥取県教育委員会小中学校課



基本方針（２）子育て支援体制の充実

目標② 家庭や地域における子育て支援体制の充実

未就園児のいる家庭や地域における子育てをよりよいものにするために、関係機関と連携して子育て支援体制の充実に努めます。

【推進のための具体的な取組】

【県・県教育委員会】

- 幼稚園・認定こども園・保育所等や家庭・地域の連携による子育て支援の推進
- 子育て支援事業の実施
 - ・「子育て世代包括支援センター（とっとり版ネウボラ）」の活動支援
 - ・地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）への支援
- 家庭教育・家庭内保育支援のための地域人材の育成
- 家庭教育・家庭内保育のための学習機会や情報の提供

【市町村・設置者】

- 未就園の子どもがいる家庭を支援しましょう。
 - ・就園や子育てに関する情報提供
 - ・子育て相談の実施
- 子育て支援センターの施設を整備し、運営施策の充実に努めましょう。
 - ・子育て支援ネットワークづくり
 - ・コーディネーター的役割をもつ人員の配置
- 様々なニーズに応えるための地域子育て支援体制を整備しましょう。
 - ・子育て世代包括支援センター（とっとり版ネウボラ）の設置
 - ・「届ける家庭教育支援」の実施
- 家庭教育支援のための地域人材の育成・活用に取り組みましょう。
 - ・子育て経験者や子育てに関心のある方等の人材育成・活用
- 保健師や民生児童委員などと連携協力しましょう。
- 子育てサークル等の活動を支援しましょう。
- 子育て文化を継承する場や機会を充実しましょう。

【幼稚園・認定こども園・保育所等】

- 子育て支援センターと協力・連携し、未就園の子どもがいる家庭を支援しましょう。
- 心理や保健の専門家、地域の子育て経験者や子育てに関心のある方等の地域の人と協力しましょう。
 - ・カウンセラー、保健師
 - ・公民館、老人会、子育てサークル、放課後児童クラブなど
- 保護者との信頼関係を築き、保護者の自己決定を尊重した対応をしましょう。



「地域の子育て支援サービス」の利用



「鳥取県における少子化対策等に関するアンケート」 (H30 子育て王国課)

勤務形態の多様化等により、子どもの預かりサービスへの需要が高まっています。また、子育て中の親子が気軽に集ったり情報交換や相談したりできる場所の利用も増えています。



各市町村による子育て応援情報や支援の内容、窓口等が掲載されています。

施策 子育て世代包括支援センター（とっとり版ネウボラ）

各市町村に置かれている妊娠から子育て期にわたり、総合的相談支援と各種の支援サービスへつなぐワンストップ拠点です。地域のつながりの希薄化、孤立化の解消、妊娠、出産、子育てに関する問題の早期発見、早期支援、虐待の未然防止等を図ります。

《子育て世代包括支援センターの主な業務》

- ① 妊産婦・乳幼児等の実情を把握すること
- ② 妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要な情報提供・助言・保健指導を行うこと
- ③ 支援プランを策定すること
- ④ 保健医療又は福祉の関係機関との連絡調整を行うこと



問合わせ先：各市町村子育て相談窓口

施策 地域子育て支援センター（地域子育て支援事業）

子育て中の親子が気軽に集って交流したり、子育ての悩みや不安を相談したりできる場所です。



《基本事業》

- ・ 子育て親子の交流の場の提供と交流促進（遊びの広場・園児との交流・ママサークル支援等）
- ・ 子育て等に関する相談・援助（子育て相談会等）
- ・ 地域の子育て関連情報の提供（パンフレット配布等）
- ・ 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（子育て講座・手づくり玩具作成等）

問合わせ先：各市町村子育て相談窓口・各センター

施策 ファミリー・サポート・センター

会員相互で子育てを助け合う組織です。規定の利用料でサービスの利用が受けられます。鳥取県では 18 市町村（R 元 現在）で運営されています。



《援助内容》

- ・ 保育施設の開始前や終了後の預かり
- ・ 保育施設までの送迎
- ・ 学童保育終了後や学校の放課後の預かり
- ・ 冠婚葬祭や他の子どもの行事の際の預かり
- ・ 買い物等外出の際の預かり 等

問合わせ先：各市町村子育て相談窓口・各センター

POINT

県・市町村等が行っている子育て支援の周知とともに、地域の子育て経験者や専門家等との連携を通して、未就園児のいる家庭の支援を進めましょう。

基本方針（3）地域における園のセンター的機能の整備

目標① 幼稚園・認定こども園・保育所等におけるセンター的機能の充実

幼稚園・認定こども園・保育所等が、地域の子育て支援センター的役割を果たせるようにするとともに、地域の子育て支援の担い手となる人材の育成や活用に努めます。

【推進のための具体的な取組】

【県・県教育委員会】

- 幼稚園・認定こども園・保育所等や地域子育て支援センターにおける子育て支援の充実
- 福祉・教育・医療・保健などが連携した支援体制の整備
- 子育て支援のための人材の育成
- 子育て支援に関する研修会の実施
- 子育てや支援体制に関する情報の提供

【市町村・設置者】

- 子育て支援ネットワークづくりとコーディネーター的役割をもつ人員の配置を推進しましょう。
- 園が地域の支援センター的機能を果たせるよう施設を整備し、運営施策の充実を図りましょう。
- 子育てや支援体制に関する情報を提供しましょう。
- 子育て経験者や子育てに関心のある方等の人材活用に努めましょう。
- 福祉機関との連携推進に努めましょう。
 - ・カウンセラーや保健師、民生児童委員との連携
- 次世代育成の視点から、小・中・高等学校とのふれあい交流や保育体験を進めましょう。

【幼稚園・認定こども園・保育所等】

- 未就園の子どものいる家庭を支援しましょう。
 - ・子育て相談の実施
 - ・育児講座（食育・離乳食・親子遊び・みんなくなど）
 - ・園の施設開放、施設活用
 - ・親子登園
 - ・保護者同士の交流の場の提供
- 子育ての支援者として力を高める研修へ参加しましょう。
- 心理や保健の専門家、地域の子育て経験者や子育てに関心のある方等の地域の人と協力しましょう。
- 小・中・高等学校とのふれあい交流や保育体験に協力しましょう。



園におけるセンター的機能とは

乳幼児の家庭や地域での生活がよりよい方向となるように、園には、地域における幼児期の教育のセンターとしてその施設や機能を開放し、積極的に子育て支援をしていく役割があります。

各園においては、子育ての相談にのったり、保護者と共に活動を企画したりするなど、親子の憩いの場を提供しています。

園に求められる 子育ての支援の役割

- 地域の子どもの成長・発達を促進する場
- 遊びを伝え、広げる場
- 保護者が子育ての喜びを共感する場
- 子育て本来の在り方を啓発する場
- 子育ての悩みや経験を交流する場
- 地域の子育てネットワークづくりをする場

「初等教育資料」(H31.1文部科学省初等中等教育局幼児教育課)

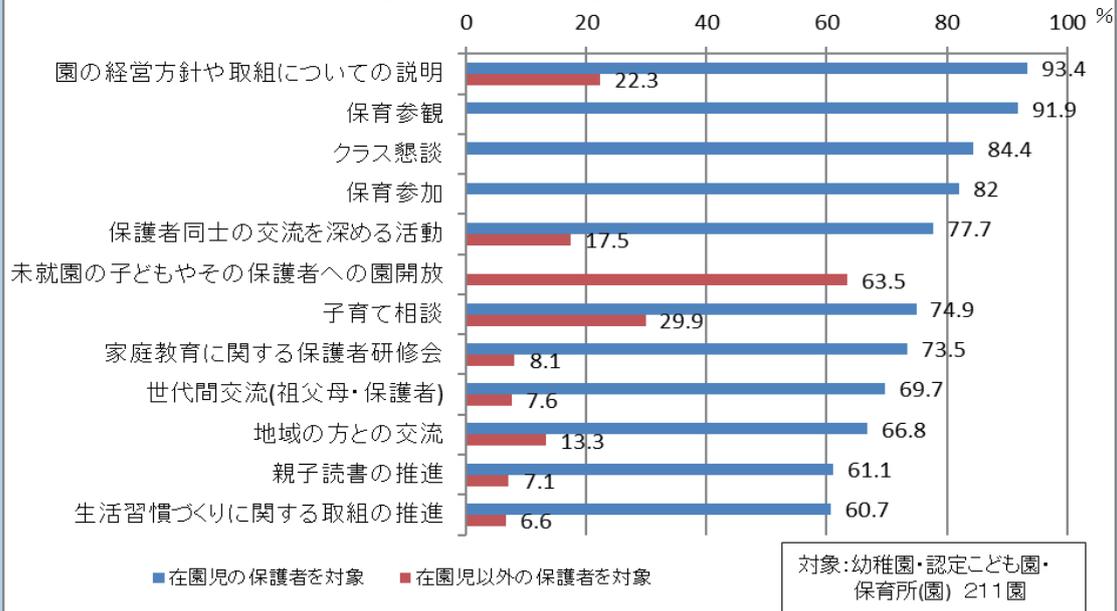


POINT

子育て支援は在園児の関係者に限らず、広く地域の人々を対象に行うことが大切です。また、心理や保健の専門家、地域の子育て経験者等と連携・協働しながら取り組む必要があります。



子育て支援の具体的な内容



「鳥取県幼児教育調査」(H28)

POINT

各園においては、地域の実態や保護者の要請に応じたり、他園の取組や先行事例等を参考にしたりしながら、地域の子育て支援のセンターとして、子育て支援を行っていきましょう。